



もろともに

令和6年8月23日発行 学校生活発信中

編集 地域連携コーディネーター

橋浦 優香

文責 副校長 岩船 裕道



note

新しい学期がスタートしました。2学期には海の運動会や文化祭など、楽しい行事が待っています。夏休み中、ボランティアやコンサート、インターハイで大いに活躍しました。そのエネルギーを2学期にも発揮し、これからの行事に向けて準備をすすめてみましょう。

サマーチャレンジやまだ 2024

7月29日から31日まで、山田町社会福祉協議会主催で「サマーチャレンジやまだ2024」が開催され、延べ49人の小学生が参加しました。初日はスポーツ教室とイラスト教室、2日目には英会話教室と宿題サポート、最終日にはマジック教室と宿題サポートが行われ、小学生たちは充実した時間を過ごしました。また高校生からは「教えることで自分も成長できた」「小学生と一緒に過ごすことで新しい視点を得た」という感想が多く寄せられました。このサマーチャレンジやまだ2024は、共に成長する貴重な機会となりました。



児童生徒サミット開催

8月6日 令和6年度 児童生徒サミットが開催され、町内の小中高のリーダーたちが、「山田の魅力化計画 ～私たちの創る山田町の未来～」をテーマに話し合いました。参加者は、山田町の魅力や未来に向けた取り組みについて討論し、「私の夢見る山田町」をテーマにスローガンを作成しました。あるグループは、「笑顔を次の世代に繋ぐ山田町」というスローガンを提案し、祭りや人の優しさを魅力として挙げ、人口増加や観光客誘致の必要性を訴えました。このサミットは、未来のリーダーたちが町の未来について考える貴重な機会となりました。



ジョイントコンサート開催

8月8日 山田高校吹奏楽部は、北海道池田高校吹奏楽部とジョイントコンサートを開催しました。池田高校は、東日本大震災以来、山田町に寄付を続けており、今回のコンサートもその一環として行われました。合同ステージでは、ヒットソングメドレーが演奏され、第2部では池田高校のダンスプレイが披露されました。第3部では両校による合同ダンブレが行われ、観客を魅了しました。このコンサートを通じて、両校の絆がさらに深まりました。



地域に広がるボランティアの輪

7月29日 「ぺんこさん」と呼ばれる生活支援ボランティアとして家の清掃を行い、利用された方はとても喜ばれていました。また、8月14日の「やまだの花火大会」ではボランティアとして、グルメフェアの食レポや花火大会の注意事項アナウンスを担当しました。これらの活動を通じて、地域との交流を広げました。



インターハイ準々決勝進出

8月7日から12日まで長崎県諫早市の本明川水上競技場で行われたインターハイにおいて、ボート部が見事に準々決勝進出を果たしました。日々の厳しい練習の成果が実り、全員が一丸となって挑んだ結果です。応援ありがとうございました。

